

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 県有施設長寿命化修繕費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部畜産振興課 酪農・飼料係 電話番号：058-272-1111 (内 2875)

E-mail: c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 12,300 千円 (前年度予算額：11,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	11,000	0	0	0	0	0	0	9,900	1,100
要求額	12,300	0	0	0	0	0	0	11,000	1,300
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県家畜育成牧場 (東濃牧場及び飛騨牧場) は、酪農・肉用牛生産の基礎となる繁殖雌牛の生産拠点とする目的で昭和48年に整備され、平成18年度より指定管理制度を導入し、(一社)岐阜県農畜産公社が管理運営を行っている。

施設等の修繕について、公社との協定により、経年劣化等に起因する修繕・更新は県が負担することとなっている。

また、県では、平成30年3月に岐阜県県有建物長寿命化計画を策定し、現有する建物を長期にわたり有効に活用するため、定期的に施設の劣化状況を把握し、岐阜県公共施設等総合管理基本方針に基づく個別施設計画により、計画的に修繕を行うこととしている。

(2) 事業内容

岐阜県公共施設等総合管理基本方針に基づく個別施設計画において、修繕を計画している、飛騨牧場 繁殖第2牛舎の屋根の再塗装工事を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10 / 10

(4) 類似事業の有無 : 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
修繕料	12,300	飛騨牧場 繁殖第2牛舎 屋根再塗装工事 12,300 千円
合計	12,300	

決定額の考え方

県全体の長寿命化予算平準化の観点から、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 関係契約等

岐阜県東濃牧場及び岐阜県飛騨牧場の管理に関する基本協定書（抜粋）
（施設及び設備の維持保全）

第17条 管理施設の改修、増築又は移設については、甲（県）が自己の費用と責任において実施するものとする。

- 2 管理施設の修繕については、1件につき60万円以上のものについては甲（県）が自己の費用と責任において実施するものとし、1件につき60万円未満のものについては乙（公社）が自己の費用と責任において実施するものとする。

(2) 各種計画での位置づけ

岐阜県県有建物長寿命化計画（平成30年3月策定）

第3章 取り組みの方向性と内容

2（1）（イ）維持保全

建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。

個別施設毎の計画

（教育・文化・体育施設）飛騨牧場

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持することで、現有する建物を長期にわたり有効に活用する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

予防的に修繕することで施設の長寿命化を図ることが目的であり、効果を数値化することが困難であるため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 飛騨牧場 繁殖第1牛舎 屋根再塗装工事の実施

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 当該施設の長寿命化が図られた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い	
(評価) ○	現有施設の長寿命化を図るためには、点検・診断等により、施設の状態を正確に把握し、必要な対策を適切な時期に実施する必要がある。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	予防保全の考え方により、修繕を行うことで、施設の機能・性能を所定の状態に維持することができる。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある	
(評価) ○	個別施設計画により、効率的、効果的に進めている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 定期的に点検・診断を行い施設等の状態を正確に把握した結果、建物の劣化状況によっては、計画の見直しを行う必要がある。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 岐阜県県有建物長寿命化計画に基づき、計画的に修繕を行う。
